

DERWENT-ACC-NO: 2004-136755

DERWENT-WEEK: 200414

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Heat-welding agent for layout of pressed flower,
consists of liquid mixture applied to use
region,
hot-melt powder which is fixed by ironing and
adhesive
powder
agent for adhering use region with hot-melt

PATENT-ASSIGNEE: SUGINO N [SUGII]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0003628 (January 10, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2003206467 A	July 22, 2003	N/A
005 C09J 201/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003206467A	N/A	2002JP-0003628
January 10, 2002		

INT-CL (IPC): C09J201/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003206467A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A heat-welding agent (1) consists of a liquid mixture (3),
a hot-melt
powder (2) and an adhesive (4) or adhesive agent. The liquid mixture
such as
ethyl alcohol, and the hot-melt powder are applied to a use region.
An
adhesion fixation of the use region with hot-melt powder is performed
by the
adhesive agent. The hot-melt powder is fixed by performing ironing.

USE - For layout of pressed flower used to fix emblem.

ADVANTAGE - The heat-welding agent prevents color change and damage on a pressed flower, efficiently. The dispersed hot-melt powder provides favorable fixing property to the heat-welding agent.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows explanatory drawing of heat-welding agent.

heat-welding agent 1

hot-melt powder 2

liquid mixture 3

adhesive 4

spray container 5

gas 6

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/8

TITLE-TERMS: HEAT WELD AGENT LAYOUT PRESS FLOWER CONSIST LIQUID MIXTURE APPLY

REGION HOT MELT POWDER FIX IRONING ADHESIVE AGENT ADHERE
REGION HOT
MELT POWDER

DERWENT-CLASS: G03

CPI-CODES: G03-B01; G03-B02;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C2004-054895

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-206467
(P2003-206467A)

(43)公開日 平成15年7月22日(2003.7.22)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I
C 0 9 J 201/00

テマコト[®](参考)
4J040

(21) 出願番号 特願2002-3628(P2002-3628)

(71) 出願人 393022609

(22)出願日 平成14年1月10日(2002.1.10)

神奈川県横浜市西区高島2-5-10 スト
ーク菱沼7F 花と緑の研究所内

(72)発明者 杉野 宜雄
神奈川県横浜市西区高島2-5-10ストー
ク菱沼7F花と緑の研究所内

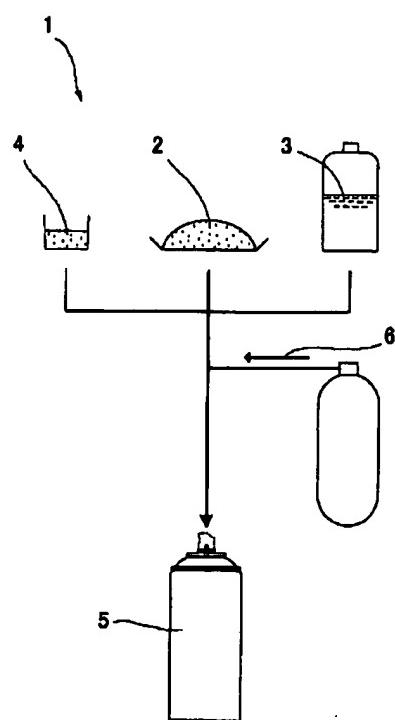
(74)代理人 100080838
弁理士 三浦 光康
Fターミ(参考) 4J04D 1A04 1B01 KA03 NA05

(54) 【発明の名称】 押し花箋のレイアウト等に使用される熱溶着剤

(57) 【要約】

【課題】 本発明は仮止めや完全固定する押し花等を変色させたり、損傷させることなく、アイロン等の熱を加えることにより、簡単に使用することができるとともに、塗布したりスプレーした場合に、該部位に粘着して周囲に飛散することなく確実に使用部位に位置させることができる押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤を得るにある。

【解決手段】 ホットメルトパウダーと、このホットメルトパウダーに混合された該ホットメルトパウダーを使用部位に塗布することができるエチルアルコール等の混合液と、前記ホットメルトパウダーを使用部位に粘着させることができるように数重量パーセント混合された粘着剤とで押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤を構成している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 アイロン等によって簡単に溶着することができるホットメルトパウダーと、このホットメルトパウダーに混合された該ホットメルトパウダーを使用部位に塗布することができるエチルアルコール等の混合液と、前記ホットメルトパウダーを使用部位に粘着させることができるよう数重量パーセント混合された粘着剤あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方とからなることを特徴とする押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤。

【請求項2】 アイロン等によって簡単に溶着することができるホットメルトパウダー、このホットメルトパウダーに混合された該ホットメルトパウダーを使用部位にスプレーすることができるエチルアルコール等の揮発性の混合液、前記ホットメルトパウダーを使用部位に粘着させることができるよう数重量パーセント混合された粘着剤あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方とをスプレー容器にガスとともに充填したことを特徴とする押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤。

【請求項3】 ホットメルトパウダーおよび粘着剤あるいは接着剤は透明なものがし使用されていることを特徴とする請求項1および請求項2記載の押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は押し花を台紙上にレイアウトする場合の仮止めや、完全固定したり、ワッペン等の固定に使用することができる押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、押し花を台紙上に仮止めや完全固定する場合、接着剤や接着テープを用いて行なっている。また、ワッペン等の背面にホットメルトをコーティングしてアイロン等の熱を加えることにより固定している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の接着剤や接着テープを用いる場合、接着剤や接着テープによって固定される押し花が変色したり、美観が損なわれるという欠点があった。また、ホットメルトを使用する場合、あらかじめワッペン等にコーティングされていなければ、使用者がホットメルトをコーティングすることができないという欠点があった。

【0004】 本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、仮止めや完全固定する押し花等を変色させたり、損傷させることなく、アイロン等の熱を加えることにより、簡単に使用することができるとともに、塗布したりスプレーした場合に、該部位に粘着して周囲に飛散することなく確実に使用部位に位置させることができる押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤を提供することを目

的としている。

【0005】 本発明の前記ならびにそのほかの目的と新規な特徴は次の説明を添付図面と照らし合わせて読むと、より完全に明らかになるであろう。ただし、図面はもっぱら解説のためのものであって、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明はアイロン等によって簡単に溶着することができるホットメルトパウダーと、このホットメルトパウダーに混合された該ホットメルトパウダーを使用部位に塗布することができるエチルアルコール等の混合液と、前記ホットメルトパウダーを使用部位に粘着させることができるように数重量パーセント混合された粘着剤あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方とで押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤を構成している。

【0007】

【発明の実施の形態】 以下、図面に示す実施の形態により、本発明を詳細に説明する。

【0008】 図1ないし図5に示す本発明の第1の実施の形態において、1は押し花等のレイアウト等やワッペン等を固定する場合に使用される熱溶着剤で、この熱溶着剤1はアイロン等によって簡単に溶着することができる透明なホットメルトパウダー2と、このホットメルトパウダー2に混合された該ホットメルトパウダー2を使用部位にスプレーすることができるエチルアルコール等の混合液3と、前記ホットメルトパウダー2を使用部位に粘着させることができるように混合された透明な粘着剤4あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方とをスプレー容器5にL.P.等のガス6とともに充填されて構成されている。

【0009】 上記構成の押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤1は、図3に示すように台紙7の使用する部位にスプレー容器5を良く振ってスプレーすることにより、ホットメルトパウダー2に付着した粘着剤4あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方によって該ホットメルトパウダー2が台紙7に粘着固定される。この状態で押し花8を配置して、図4に示すようにアイロン9等で熱を加えることによりホットメルトパウダー2が溶着して、押し花8を台紙7に固定することができる。

この場合、ホットメルトパウダー2や粘着剤4あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方が透明なものが使用されているので、押し花8や台紙7を着色する心配がなく、ありのままの押し花8で固定することができる。また、アイロン等によって簡単に溶着することができる透明なホットメルトパウダー2を用いているので、アイロン等による熱を加える場合に押し花8を変色させるような熱を加えなくても溶着することができる。

【0010】 また、図5に示すようにワッペン10をコート11の取付ける部位にスプレーすることにより、該

3

部位にホットメルトパウダー2が粘着剤4あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方によって粘着固定され、この上にワッペン10を配置してアイロン9をかけることにより、ホットメルトパウダー2が溶着して、ワッペン10をコート11に固定することができる。

[0011]

【発明の異なる実施の形態】次に、図6ないし図8に示す本発明の異なる実施の形態について説明する。なお、この本発明の異なる実施の形態の説明に当って、前記本発明の第1の実施の形態と同一構成部分には同一符号を付

して重複する説明を省略する。

【0012】図6ない図8に示す本発明の第2の実施の形態において、前記本発明の第1の実施の形態と主に異なる点は、ホットメルトパウダー2とエチルアルコール等の揮発性の混合液3と数重量パーセントの粘着剤4あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方とを混合して密閉容器12に充填した点で、このように構成した押し花等のレイアウト等に使用される熱溶着剤1Aにすることにより、ブラシ13等によって塗布して使用することができる。

【0013】なお、本発明の各実施の形態では透明なホットメルトパウダー2や粘着剤4あるいは接着剤を用いるものについて説明したが、本発明はこれに限らず、半透明や各種の色に着色されたホットメルトパウダー2や粘着剤4あるいは接着剤を用いてもよい。

[0014]

【発明の効果】以上の説明から明らかのように、本発明にあっては次に列挙する効果が得られる。

【0015】(1) アイロン等によって簡単に溶着することができるホットメルトパウダーと、このホットメルトパウダーに混合された該ホットメルトパウダーを使用部位に塗布することができるエチルアルコール等の混合液と、前記ホットメルトパウダーを使用部位に粘着させることができるように数重量パーセント混合された粘着剤あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方とで構成されているので、使用部位に粘着剤によってホットメルトパウダーを粘着固定できる。したがって、ホットメル

トパウダーが飛散したり、移動したりするのを確実に防止することができる

【0016】(2)前記(1)によって、粘着剤あるいは接着剤のいずれか一方あるいは両方はホットメルトパウダーを使用する部位に粘着固定するだけのものであるので、仮止めや完全固定はホットメルトパウダーの溶着によって行なうことができる。したがって、押し花等の固定で、従来の接着剤や接着テープを用いるものに比べ、押し花等の変色や損傷を効率よく阻止することができる。

【0017】(3)前記(1)によって、誰でもが楽に使用することができる。

【0018】(4) 請求項2も前記(1)～(3)と同様な効果が得られる

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態の説明図

【図2】スプレー容器に収納した状態の一部破断説明図

【図3】本発明の第1の実施の形態の台紙にスプレーした状態の説明図

【図4】本発明の第1の実施の形態の熱を加えて溶着する状態の説明図

【図5】本発明の第1の実施の形態のワッペンを取り付けた状態の説明図

【図6】本発明の第2の実施形態の説明図

【図7】本発明の第2の実施の形態の密閉容器に収納した一例の説明図

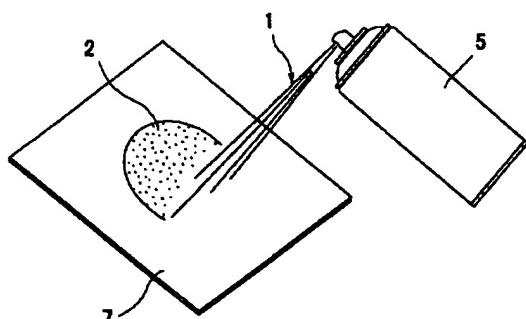
【図8】本発明の第2の実施の形態の使用状態の説明

図。

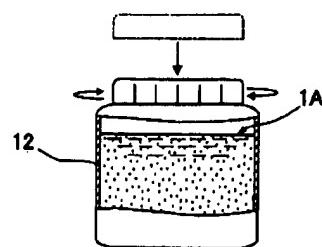
【符号の説明】

1、1A：熱浴着剤、2：ホットマルチパワーバー、
3：混合液、4：粘着剤、5：スプレー容器、6：ガス、7：台紙、8：押し花、9：アイロン、10：ワッペン、11：コート、12：密閉容器、13：ブラシ。

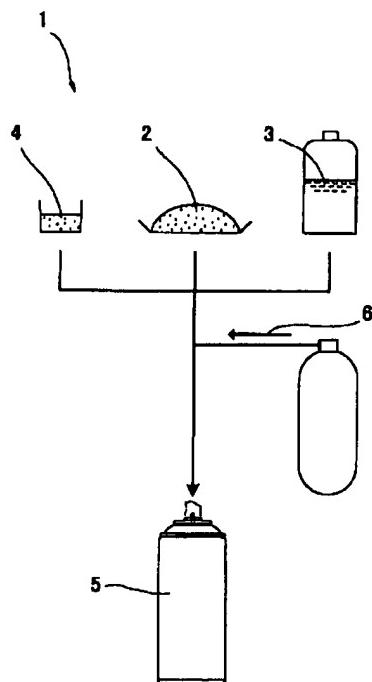
[图3]



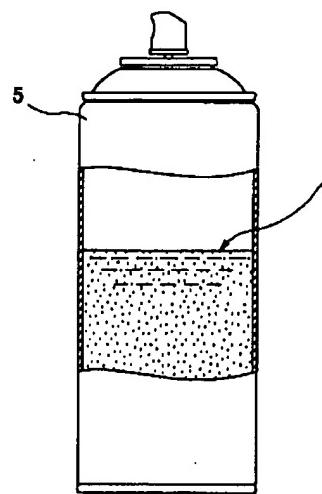
【四七】



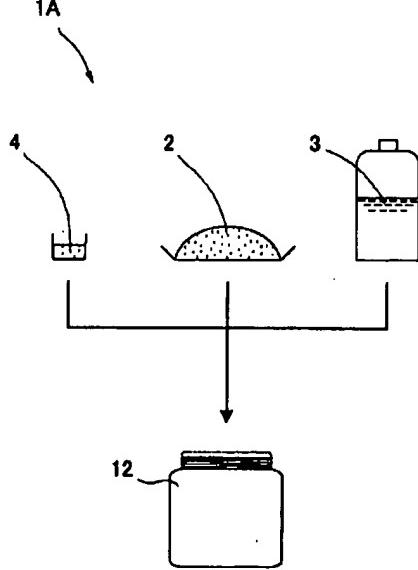
【図1】



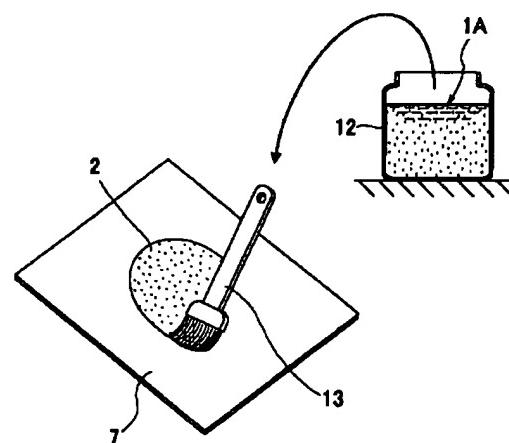
【図2】



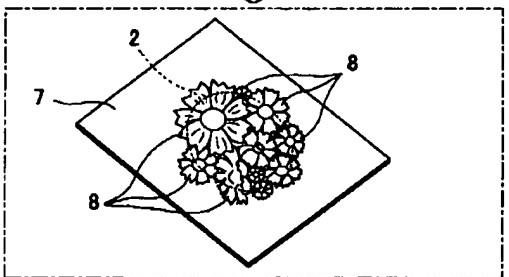
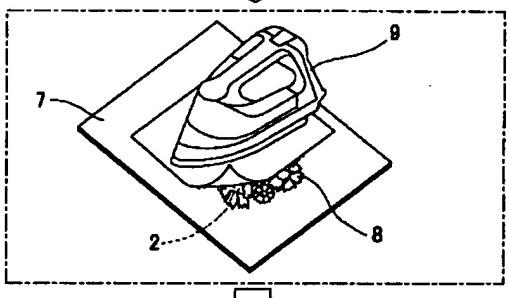
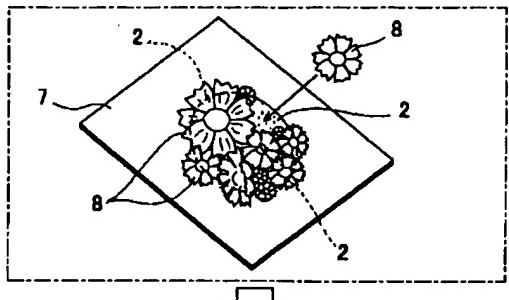
【図6】



【図8】



【図4】



【図5】

